琉球大学学術リポジトリ

教員養成最終段階におけるプラクティススクールによる総合的力量の形成とその明示的な確認に資する事業：平成19年度文部科学省教員養成改革モデル事業(教職実践演習の試行)

メタデータ	言語: 出版者: 會澤, 卓司 公開日: 2009-01-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/8847

第4部　資　料　編

資料1　平成19年9月17日（月）　朝日新聞（全国版）

朝日新聞　H19.9.17(月)　第3種郵便物認可

現場派の教員養成中

ネットで体験共有／模擬学校／専門学部

「現場」に強い教員を養成しようと、大学で様々な取り組みが広がっている。学生が小学校を訪ねた際の体験を広く共有できるシステムを整えたり、学生自身に「学校」を運営させる仕掛けを施したり。「学校教師学部」と銘打ち、教員養成だけに的を絞った学部の設置を目指す動きも出始めた。（大西史晃）

小学校での体験をインターネット掲示板で読みあう学生ら＝静岡市駿河区の静岡大で

静岡大　「掲示板」に悩みや助言

「子どもと接する時は『先生』の立場でないといけないのに、今日は『遊んでくれるお兄さん』になってしまっていた」（06年10月12日、1年男子）

「（児童が）どこまで迷惑をかけたら注意する、というタイミングと見通しを持つことが大切だと思った」（同26日、3年女子）

静岡大教育学部（静岡市駿河区）では、学生が小学校訪問時の体験をネット上の掲示板に書き込んでおり、パソコンにパスワードを入力すればアクセスできる。以前は記録を担当教授に提出していたが、「感想などを気軽に見せ合えるようにする」（菅野文彦教授）狙いで、05年度からネット掲示板を使い始めた。

訪問指導では、教育実践学校室の学生を中心に40人弱が数カ月間、週1回のペースで学校に赴き、授業の補助やテストの採点をしたり、児童と遊んだりしている。ネット上の活動記録のコーナーには、その際の子どもの様子や反省点などが伴しく書き込まれている。

他の学生へのアドバイスも書き込める。定期的に開く「振り返りの会」で、書き込みをもとに議論している。4年生の芳賀まゆきさんは「子どものけんかといった場面にどう対応したかは、人によって異なる。色々な対応を知ることができ、改善につながった」と話す。

取り組みは、文科省が今年度から始めた「教員養成改革モデル校」に選ばれた。教育実習の改善・充実につながると評価されたからだ。予算が加えたため、参加する学生や訪問先の学校を増やしていく。訪問先にパソコンを設置、いつでも悩みを書き込んだり助言をしてもらったりできるようにする計画だ。システム構築などを担当した同学部の荒川弘知・情報教育講座准教授は「書き込みをするのは大変だが、それ以上の何かが得られるはず。お互いを高め合う文化をつくってほしい」。菅野教授も「（体験の共有で）新任時から『引き出し』が多い状態で教壇に立てる」と期待する。

琉球大　学生が「学校」運営参加

琉球大教育学部（沖縄県西原町）は、この秋に「フラクティススクール亜熱」を始めようと準備中だ。

大学などに「模擬学校」を設け、周辺の小中学校の児童生徒に「入学」してもらうという取り組み。①自然体験・遊び②食③自治体を紹介するパンフレット作り④国語・算数、をテーマに四つの学校を開く計画だ。

食の学校では、大学近くの施設を使い、児童にピーナツが材料のジーマミ豆腐作りなどを教える。各学校は4年生を中心とする学生が自ら運営し、土曜などを利用して今年末までに8回前後開く。

7月下旬に学生向けの説明会を開いた。パンフ作成に6人、それ以外には十数人の学生が参加する予定。小中学生への「入学」呼びかけも始まった。

学生が先生を務めるだけでなく、学校全体を運営する点がポイントだ。小林稔・教育実践総合センター准教授は「企画・広報のやり方も学生に考えさせたい。これからの教員には、そうした営業的な資質や交渉力も求められる」と狙いを語る。

中央教育審議会は昨年の答申で「教員に必要な資質と能力の最終的な形成と確認」のため、教職課程に「教職実践演習（仮称）」を必修科目として新設する必要があると提言。琉球大の試みはこの「演習」の試行が狙いで、文科省のモデル事業に採択された。

「演習」は、学生が教員にふさわしいかどうかを最終的に見極める場にも想定されている。小林准教授は「コミュニケーション力も含めた総合的な力量が伴っているか、最終段階で確認できるシステムにしたい」と話す。

秀明大　学校教師学部を申請

「学校教師学部」――こんな名称の学部の新設を目指しているのが秀明大（千葉県八千代市）。全生が教員を目指すことをうたった学部で、08年4月の開設に向けて文科省に設置を申請中だ。

学部の定員は250人で、全寮制。寮生活を通じて対人能力や協調性などを養ってもらう。一方で、1年次から学校現場での実習を行う。同大を運営する秀明学園が設置した中学、高校が実習の受け入れ先となるほか、周辺自治体の協力も仰ぐ予定だ。

「教育コミュニケーション論」では保護者への対応の仕方を教えるなど、実践的な講義も充実させる。秀明学園の川島幸希理事長は「人物面でも指導面でも即戦力の教師を養成したい。生徒が『あの先生に出会えて良かった』と思えるような教師が目標です」と意気込む。

資料2　平成19年11月6日（火）　沖縄タイムス朝刊

7年(平成19年) 11月 6日 火曜日　沖縄タイムス

学生が「先生」模擬校開設

琉大教育学部 即応力養成が狙い

近隣の児童・生徒対象に

「学校現場」での即応力を鍛おうと、琉球大学教育学部は十月から、学生が「先生」になって「学校」を運営する模擬学校（プラクティススクール）を開設した。大学生が国語・算数や道徳などを指導し、近隣の小中学生らが楽しく学ぶ。本年度から始まった文部科学省「教員養成改革モデル事業」にも採択された注目の取り組み。子どもたちから「授業が面白い」「丁寧で分かりやすい」と好評だ。（田端正雄）

文科省の改革モデル事業

「模擬学校」は大学内の一室、または近隣の小学校・近隣の学童クラブなどで、10回程度の授業を行う。年度から教員養成課程に必修科目「教職実践演習（仮称）」の新設が予定されている。琉大の「模擬学校」は、全国で四つのモデル拠点の一つに選ばれた。

教科の指導だけでなく、校務分掌や行事の企画など、実際に即した学校運営全体を任されることがポイント。大学側は将来的に、学生の間に教員としての使命感、責任感、指導力などを見て、教員として適性があるかどうかを見極める科目にしたいと考えた。

琉大教職教育実践総合センターの小林公雄教授は「これからの教員には、企画、広報、交渉などの力がより一層求められる。言われたことだけやる教員でなく、集団の中核を担える人材を育てたい」と狙いを語る。

国際科学の藤野敦子准教授は「授業はうまいが、教員間の連携が取れないなどの例もある。実践的な形で、社会性や教育的資質、コミュニケーション能力などを総合的に見る場にしたい」と話している。

特別支援 専門的助言を

県研究大会（第三十回県特別支援教育研究大会（主催・県

授業に子どもの反応上々

教える側もやりがい

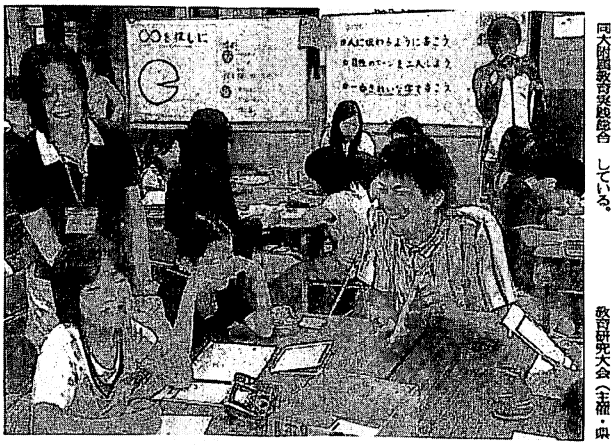
国語・算数を勉強する「コックさん学校」には、宜野湾市の嘉数、志真志、長田の三小学校から、四年生四十一人が参加している。毎週一回日午前、琉大の教室に集まり、一コマ校時まで楽しく学ぶ。

「先生」は教育学部一―四年の十二人。それぞれ校長や教頭、学務主任、児童会・レクリエーション担当などの役割が決められており、毎回朝の会、帰りの会も行われる。「授業」の内容は各担当の「先生」が独自に考える。

十月二十日の授業は、オリジナル絵本作りを通して創造力や表現力を養う「国語」と、三角形が登場するサイコロを教材に、辺の長さや角の大きさと正三角形の性質を学ぶ「算数」。担当の「先生」が順番に教壇に立った。

教室は二部屋が取られ、授業者は二部ずつ参観できる。それぞれ十二月まで、八回程度行われる。

中央教育審議会は昨年の答申で、教員免許更新制への教員免許交付を前提とした教員養成課程の見直しを提言。教員の資質能力の向上を図るため、教職大学院の設置や、教員免許更新制の導入などを盛り込んだ。



「模擬学校」で国語や算数を教える教育学部の学生。親しみやすさで子どもたちの反応も上々だ＝10月20日、西原町・琉球大学

「夜回り先生」が教授就任で抱負

花園大学で会見

「夜回り先生」として知られ、二〇〇八年四月から花園大（京都市中京区）の客員教授を務める元高校教師の水谷修さん（三）が十月三十日、花園大で記者会見し、「教壇に立つのが一番の楽しみ」と就任の抱負を語った。

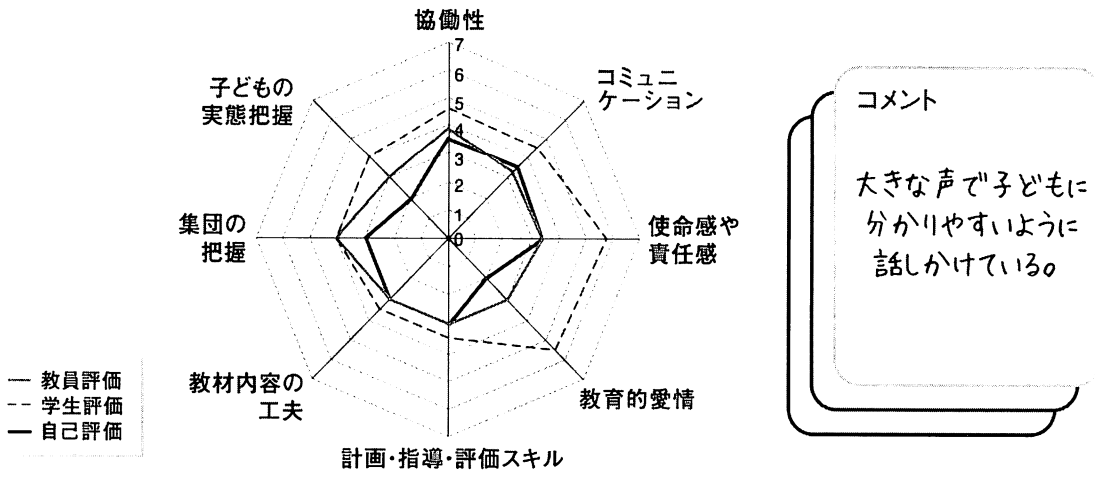
水谷さんが定期的に授業を受け持つのは、〇四年に栃木市の高校を退職して以来、水谷さんは教壇に戻りたいと思っていた。心の病を抱える子どもたちの面から解決するアプローチをしてみたい」。

資料3　琉球大学における教員養成コア科目群と教職スタンダードとの関連（検討中）

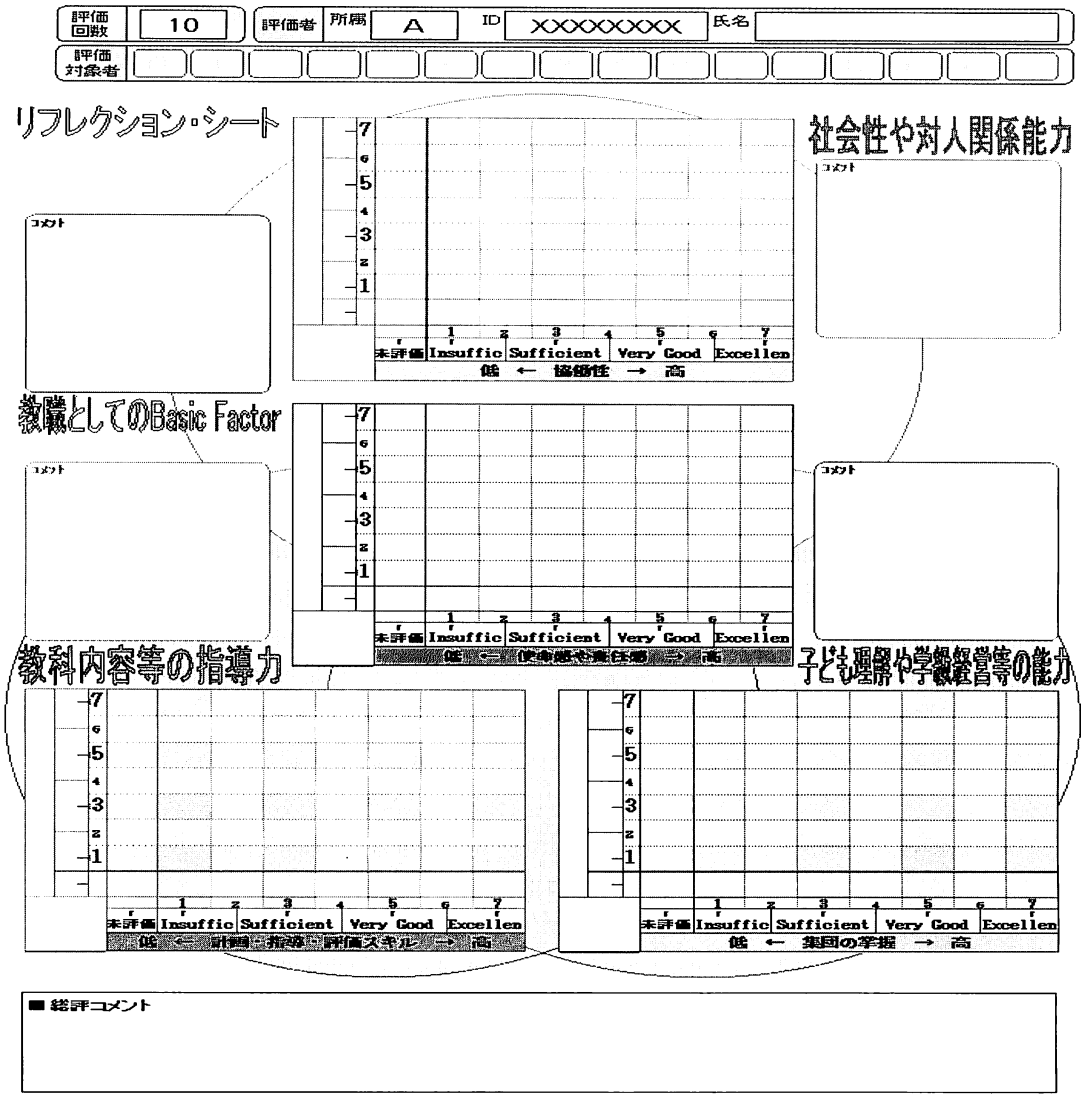
		PART Standard							
		教職としての基本要素と信念		教科内容等の指導力		社会性や対人関係能力		子ども理解と学級経営等の能力	
		教育的愛情	使命感や責任感	教材内容の工夫	計画・指導・評価スキル	コミュニケーション	協働性	子どもの実態把握	集団の掌握
1年次	教職体験Ⅰ 観察実習（必修）	○	○			○	○	○	
2年次	教職体験Ⅱ 体験実習（必修）	○	○			○	○	○	
	介護等体験（必修）					○	○	○	○
3年次	教育実習（必修）	○		○	○	○			
4年次	応用実習（選択・他校種）			○	○	○		○	
	教職実践演習（必修予定）	○	○	○	○	○	○	○	○

ティーチング・ポートフォリオ

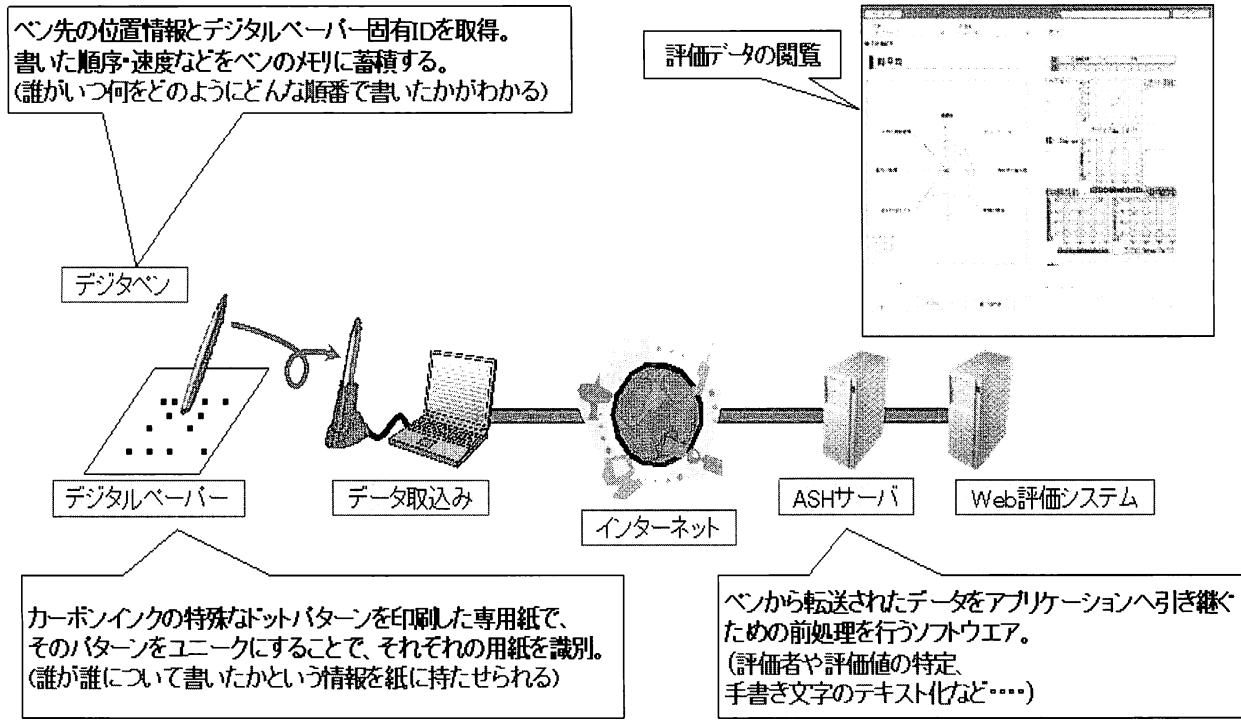
資料４　　自己評価、他者評価（学生評価，教員評価）の明示化



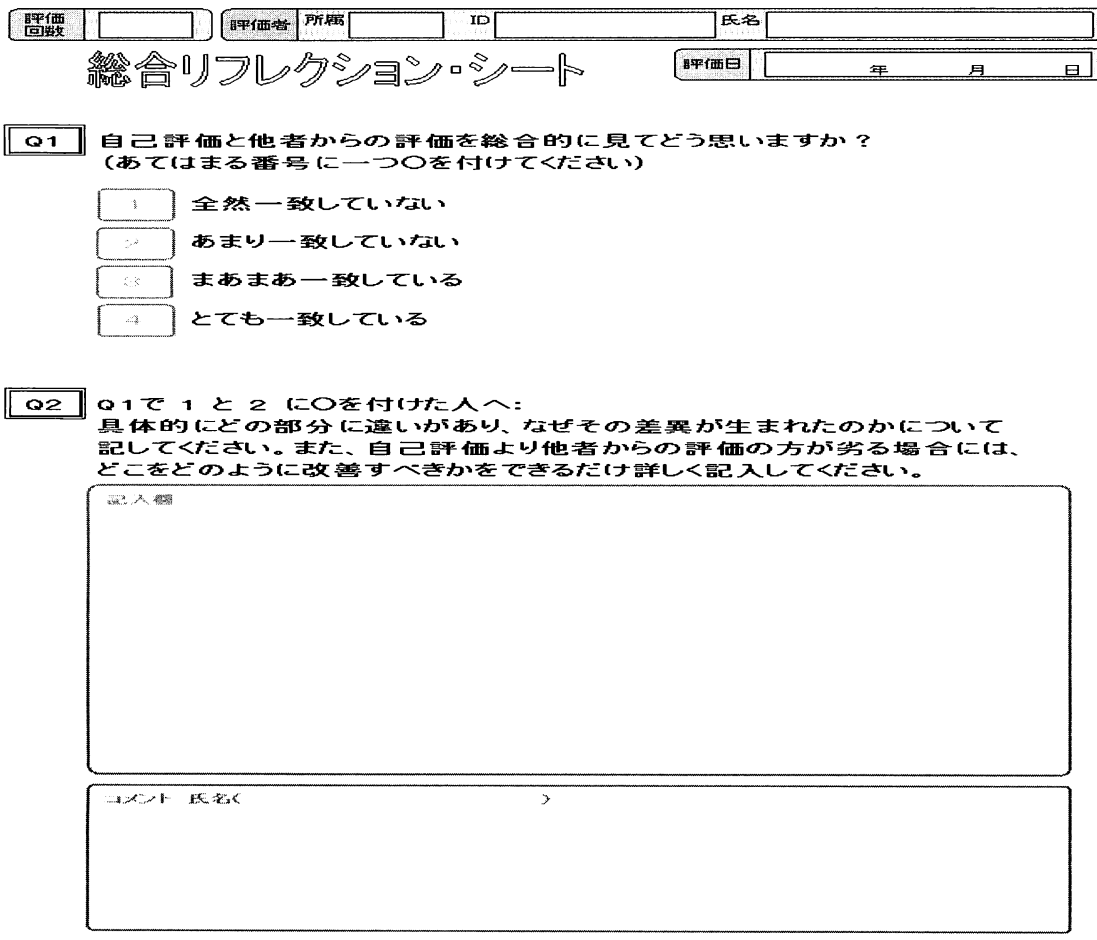
資料５　リフレクションシート（自己評価、学生評価，教員評価で使用）



資料6　リフレクションデジタルシステムの全体イメージ



資料7　総合リフレクションシート



資料8　SATT ゼミ（社会科系）において中学生が作成した宜野湾市紹介のパンフレット表紙

資料9　事業目的の達成度を明らかにするため，事業終了後に用いたアンケート調査

アンケート　無記名で結構です。
：あてはまる番号に○をつけるか。あるいは自由に記述してください

1．　プラクティススクールに参加したことによってどの程度教員候補生として必要な新たな資質・能力を形成することができたと思いますか？

まったくできなかった	あまりできなかった	まあまあできた	とてもできた
(1)	(2)	(3)	(4)

2．　上記1で（3）か（4）に○をつけた人のみ回答してください。どのような新たな資質・能力を形成できたと思いますか？

3．　上記1で（1）か（2）に○をつけた人のみ回答してください。プラクティススクールをどのように改善すれば新たな資質・能力が形成できたと思いますか？

4．プラクティススクールに参加したことによって、どの程度教員候補生としての自分の資質・能力を確認することができましたか？

まったくできなかった	あまりできなかった	まあまあできた	とてもできた
(1)	(2)	(3)	(4)

5．　上記4で（3）か（4）に○をつけた人のみ回答してください。自分のどのような資質・能力を確認することができたと思いますか？

6．　上記4で（1）か（2）に○をつけた人のみ回答してください。プラクティススクールをどのように改善すれば自分の資質・能力を確認することができると思いますか？

資料10　事業効果検証のためのアンケート調査（事前テストと事後テストでは前文が若干異なる。）

教員養成系授業科目の多次元的効果に関するアンケート調査

実施日（　　月　　日　）

学科　　年　　学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

教育実践総合センター

この調査は、これまで【今年度前期終了時点まで】の教員養成系カリキュラムにおける授業内容等（共通教育を除いた講義）について、総合的な視点からみなさんがどのような考えをもっているのかを検討し、さらには、新授業科目として実施する「教職実践演習」のさまざまな効果を明らかにするために行うものです。大学の成績等にはまったく関係がありませんので、現時点での率直な考えをお聞かせください。なお、約４ヶ月後に追跡調査を実施する予定ですので学籍番号も記してもらいますが、収集したデータは、統計的に処理・分析されるため、個人の情報が公表されることは決してありません。御協力のほどよろしくお願いします。

すべての質問項目において最もあてはまる番号に○をつけてください。

Ⅰ　現時点で「教員」という職業に、どの程度就きたいと思っていますか？
１まったく思わない　　２ 選択肢の一つ　　３有力な選択肢　　４ 第１志望

Ⅱ　以下には、今年度前期終了時点までにおける教員養成系の授業科目に関して、授業内容の総合的な性質について記述した30の項目があります。**これまで受講してきた教員養成系の講義について総合的に判断して以下の７段階で評定してください。**

まったくあてはまらない　・・・　１
あまりあてはまらない　・・・　２
どちらかと言えばあてはまらない・・・　３
どちらとも言えない　・・・　４
どちらかと言えばあてはまる　・・・　５
だいぶあてはまる　・・・　６
非常にあてはまる　・・・　７

1.学んでいておもしろいと感じる内容・・・　１　２　３　４　５　６　７

2.就職や進学の試験突破にとって大切・・・　１　２　３　４　５　６　７

3. 学ぶことによって、より自分らし　・・・１　２　３　４　５　６　７
い自分に近づくことができる内容

4. 身につけているとカッコイイと思える内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

5. 将来の仕事に関わる社会的な問題を理解するのに役立つ内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

6. 就職または進学できる可能性が高まる内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

7. 学んだことが他の人に自慢できる内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

8. 将来社会人として活動する上で大切な内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

9. 学ぶと、自分自身のことがよりよく理解できるような内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

10.学んでいて満足感が得られる内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

11.今まで気づかなかった自分の一面を発見できるような内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

12.職業を通して社会に貢献しようとするときに役立つ内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

13.興味をもって学ぶことができるような内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

14.詳しく知っていると他者から尊敬されるような内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

15.希望する職業に就くための試験に必要な内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

16.将来、仕事における実践で生かすことができる内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

17.学ぶと人よりかしこくなると思えるような内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

18.学んでいて好奇心がわいてくるような内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

19.自分の個性を生かすのに役立つような内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

20.就職または進学する際に要求されると思う内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

21.自分という人間に対して興味・関心を持つような内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

22.自分の進路目標を実現するのに必要な内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

23.知っていると周囲からできる人として見られるような内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

24.学んでいて楽しいと感じられる内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

25.将来、仕事の中で直面する課題を解決するのに役立つ内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

26.学んでいて知的な刺激が感じらる内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

27.自分の希望する職業の中身に関係するような内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

28.学んでいることに誇りが感じられる内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

29.就職や進学をする際に役に立つ内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

30.学ぶことで人間的に成長すると思えるような内容 ・・・ 1 2 3 4 5 6 7

Ⅲ. 現時点で、次のような話し合う能力や人間関係のスキルはどの程度ありますか？

1. 自分から積極的にいろいろな人に話しかけることができる。

(1) まったくあてはまらない　(2) あまりあてはまらない　(3) どちらとも言えない
(4) 少しあてはまる　(5) かなりあてはまる

2. 苦手な人とも人間関係を良好に保つことができる。

(1) まったくあてはまらない　(2) あまりあてはまらない　(3) どちらとも言えない
(4) 少しあてはまる　(5) かなりあてはまる

3. 話し合いの時、自分とは違う考えの人の意見でもじっくり聞ける。

(1) まったくあてはまらない　(2) あまりあてはまらない　(3) どちらとも言えない
(4) 少しあてはまる　(5) かなりあてはまる

4. 話し合いの時、参加者の気持ちが傷つかないように配慮できる。

(1) まったくあてはまらない　(2) あまりあてはまらない　(3) どちらとも言えない
(4) 少しあてはまる　(5) かなりあてはまる

5. 話し合いの時、反対意見の人に対しても上手に自分の意見を主張できる。

(1) まったくあてはまらない　(2) あまりあてはまらない　(3) どちらとも言えない
(4) 少しあてはまる　(5) かなりあてはまる

6. 話し合いの時、自由に話しやすい雰囲気をつくることができる。

(1) まったくあてはまらない　(2) あまりあてはまらない　(3) どちらとも言えない
(4) 少しあてはまる　(5) かなりあてはまる

Ⅳ. 今のあなたの意識や考え方にあてはまるかどうかを判断して下さい。そして、あてはまる程度を下記の５段階の中から１つ選び、その数字に○をつけて下さい。

「まったくできない・・１」「あまりできない・・２」「どちらともいえない・・３」
「すこしできる・・４」「よくできる・・５」

1. 学習について行けない子どもに対して、その子に応じた学習指導を行うことができる。
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1― 2― 3― 4―5

2. 学級を乱す子どもにうまく対応することができる。・・・・・1― 2― 3― 4―5

3. 授業を臨機応変に工夫して行うことができる。　・・・・・・ 1― 2― 3― 4―5

4. 子どもに学習することの意味や価値を理解させる指導を行うことができる。
・・・・・・ 1― 2― 3― 4―5

5. 学級のルールを子どもに守らせることができる。・・・・・・ 1— 2— 3— 4—5

6. 授業において、子どもから出てくるどんな質問に対しても、うまく応えることができる。
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1— 2— 3— 4—5

7. やる気のない子どもに学習意欲を高める学習指導を行うことができる。
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1— 2— 3— 4—5

8. 授業において子どもに考えさせるような良い発問をすることができる。
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1— 2— 3— 4—5

9. 落ち着きのない子どもを静かにさせることができる。 ・・・ 1— 2— 3— 4—5

10.子どもに自信を持たせるような学習指導を行うことができる。 1— 2— 3— 4—5

11.授業内容がよくわからない子どもに対して、わかるように説明をすることができる。
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1— 2— 3— 4—5

12.さまざまなグループ活動を通して学級をまとめることができる。
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1— 2— 3— 4—5

V. あなたは教師としての総合的な力量をどの程度備えていると思いますか？

(1) まったく備えていない　(2) あまり備えていない　(3) どちらとも言えない
(4) 少し備えている　(5) かなり備えている

＊今まで教員養成系の授業を受けてきて、思ったこと、感じたことを自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

学籍番号等の書き忘れがないか、もう一度確認してください。

本調査に関する問い合わせは、098-895-8449（小林）まで。